

授業 コード	10814	科目名	資格日本語(2)		担当者		田中 智子		
		副題	N1合格を目指そう		開講期	後期	単位数	1	DP対応
【授業概要】									
日本語能力試験1級の問題集を用いて、試験に合格するための知識を身につけます。日本語能力試験には、いろいろな問題があります。しかし、読解やリスニングでよい点をとるためには、文法や語彙の力がなくてはなりません。そのため、この授業では、文法や語彙を中心に勉強します。また、ときどき短い文章を読む練習をし、読解問題に慣れるようにします。									
【到達目標】									
日本語能力試験N1に合格する程度の日本語を使うことができる(非漢字圏や学習歴の浅い学生は、まずN2を目標にしてもよい)。									
【授業方法・計画】									
授業は教科書をもとに演習形式で進めます。最初に漢字部分の小テストを行い、それから問題の答え合わせをしながら、教員が説明をします。									
第1回	オリエンテーション、教科書第11日								
第2回	第12日								
第3回	第13日								
第4回	短文読解								
第5回	第14日								
第6回	第15日								
第7回	短文読解								
第8回	第16日								
第9回	第17日								
第10回	短文読解								
第11回	第18日								
第12回	第19日								
第13回	第20日								
第14回	復習								
【準備学習・復習】									
準備学習:教科書の問題を解いておく。読み方がわからない漢字や意味のわからない言葉があったら、辞書で調べる(60分)。 復習:間違った問題の正しい答えを覚え直す(40分)。									
【課題に対するフィードバックの方法】									
毎週漢字の小テストを行います。授業内で答え合わせをし、回収して理解度を確認します。授業で書いてもらった課題シートは、採点などを行ったあと返却します。									
【受講上のアドバイスおよび注意事項】									
資格日本語(1)の続きから学びますが、(2)から履修しても構いません。 検定試験に合格するには、「授業に出ている」だけでは十分ではありません。予習をしっかりやり、間違えたところは覚えるまでやり直しましょう。できれば自分で教材以外の問題集もやりましょう。多くの問題を解くと、合格する可能性が高くなります。遅くとも3年生修了の時点でN1に合格することを目指しましょう。教科書は基本的に毎回使います。履修者は必ず準備してください。									
成績評価方法	『小テスト』:各回の授業内容の習熟度...30% 『レスポンスシート(授業の中でする課題)』:各回の授業内容の習熟度...30% 『試験』:基本事項の確認...40%								
教科書	国書日本語学校『日本語能力試験20日で合格N1 文字・語彙・文法』(改訂版)								
参考書	図書館や国際交流センターにある過去問題集と各種問題集								
CB1208	授業に関連する実務経験				なし				